

# IPW緩和ケアコース 多職種協働 事例検討研修

日時

2026/ 3/14

土

申し込み締切り：3月7日（土）

第6回

終末期鎮静療法とSDM

13:00-16:00 (全6回)

**事例** Aさん（55歳）は乳がんで多発脳転移があり、中枢神経の反回神経障害の声帯麻痺状態となった。そのため呼吸苦が憎悪し、気道狭窄音も聞かれるようになった。耐え難い苦痛でAさんは、迷いながら「鎮静療法」を選んだが、その訴えは2転3転し、家族の苦情の多さも相まって、医療者は困惑し疲弊した。  
終末期の鎮静療法における、SDM（共同意思決定）を考えます。

講師

国立がんセンター中央病院 緩和医療科医長 石木寛人氏

会場

オンライン  
(ZOOM)

対象

医師・看護師・  
MSW・薬剤師など

5/10 土 ケミカルコーピング

**事例** 認知症高齢者のAさんに積極的化学療法がなされている。家族の要望ではあるけれど…

**講師** 京都大学 臨床倫理准教授

7/12 土 麻薬:  
ケミカルコーピング

**事例** 痛みの訴えと易度性が高くなっているAさん。これは医療麻薬の依存症？医療者は巻き込まれる

**講師** 金沢大学病院 専門薬剤師

9/13 土

「怒り」の  
矛先になる時

**事例**

BSCを告げる時、激しい「怒り」で、治療継続を求めるAさんと家族にどう対応する？

**講師**

がん研有明病院 精神腫瘍科部長

11/8 土 AYAの治療拒否

**事例**

AYA患者のAさんは、治療を拒否する。家族は治療希望で医療者間でも意見が分かれて…

**講師**

聖路加国際病院 小児科部長

1/10 土

多問題家族:  
ヤングケアラー

**事例**

家庭内別居のAさんは、長男（中学生）を頼りに療養し、病院への付き添いも長男である

**講師**

がん研有明病 がん看護専門看護師

長野北信がんプロホームページの「受講者の方へ」から、または右のQRコードからお申し込みください。その際に、申込みフォームお問合せ欄に、第何回を受講されるかを記入してください。 例：第6回希望 など



申込

長野県北信がんプロ



詳しくはWebサイトをご覧ください  
<https://www.nagano-ganpro.jp/>